

| 潮見小校長室だより



| **151 周年** 2025. 11. 27 No. 47 松山市立潮見小学校 池川 仁 校長

防災学習会を行いました(5年生)

11月25日(火)に5年生が、防災学習会で土砂災害等について学びました。 令和 6 年度までは、総合的な学習の時間に「米作り」について学習をしていまし たが、今年度から防災について学習をするようにしました。米作りも、社会科と関 連付けられて、大変意義深い活動だったのですが、諸事情で継続することが難しく なりました。そこで、潮見地区で起こり得る水害や今後起こる可能性の高い南海ト ラフ大地震など、自然災害に備えることの重要性が高まっているので、今年度から 防災教育に転換しました。

潮見小学校区では、昨年、一昨年の大雨で、学校の前を流れる吉藤川や大川があ ふれ、被害が出ています。土石流の警戒区域も存在します。水害についての備えを 十分にしておく必要がある区域であることは間違いありません。

5年生全体では、ビデオを見たり講話を聴いたりしながら、 土砂災害とはどういったものなのか、なぜ起きるのか、とい ったことを学びました。その後、各クラスに分かれて、ロー テーションで体験活動などを行いました。防災マップやモデ ルを使った学習では、土石流が起きやすい場所や土石流のメ カニズムなどを学びました。それぞれの足に 7.5 kgのおもり

をつけて歩いているのは、ひざ下に水が あった時の抵抗を体感するためです。自 由に歩くことができないことがよく分か りました。土砂災害の 3D 体験では、実 際の映像が立体的に見ることができるの で、その恐ろしさが十分分かりました。 降雨体験では、1時間に30㎜の雨量の



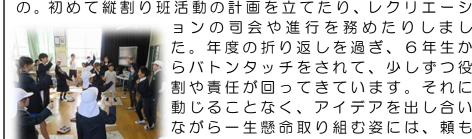


威力を思い知らされました。ある子どもは「雨が重い」と言っていました。

今回、様々な体験をすることが、土砂災害への理解を深め、防災意識を高めるこ とができました。今後は、何を備え、実際起きた時にどのような行動をとればよい のかを考えていきたいと思います。5年生の教員が防災の単元を構成し、新しいこ とに取り組んでいることは、今後の潮見小学校全体の防災にもつながると考えてい ます。愛媛県砂防ボランティア協会、愛媛県土木部砂防課、中予地方局建設部の皆 様、ご協力ありがとうございました。

5年生の頑張りが見られます!

11月21日(金)の昼休みに縦割り班活動のスハミラタイムを実施しました。 この日のスハミラタイムの企画、運営は 5 年生によるも



ョンの司会や進行を務めたりしまし た。年度の折り返しを過ぎ、6年生か らバトンタッチをされて、少しずつ役 割や責任が回ってきています。それに 動じることなく、アイデアを出し合い ながら一生懸命取り組む姿には、頼も



しさを感じました。今後の5年生の活躍に期待をしています。